

〈研修テーマ〉 人口減少問題に対応した社会教育行政の在り方

～ 人口減少問題に対応した学習機会の提供 ～

- 1 趣 旨 人口減少問題に対応した生涯学習を推進するための体制整備として、人材の育成や地域との協働に関する実践事例等をもとに検討し、人づくりやまちづくりに資する学習機会の提供の在り方について考えを深める。
- 2 主 催 北海道立生涯学習推進センター
北海道社会教育主事会協議会（空知社会教育研究協議会）
- 3 協 力 北海道教育庁空知教育局
- 4 日 時 平成 28 年 8 月 25 日（木）10：00～17：00
- 5 会 場 空知総合振興局 5階会議室（岩見沢市 8 条西 5 丁目）
- 6 参加対象 市町村・市町村教育委員会職員、各種審議会委員（社会教育委員、生涯学習審議会委員等）、生涯学習・社会教育関連施設職員、青少年教育施設職員、社会教育関係団体職員等
- 7 募集定員 30名
- 8 研修内容
 - (1) 説 明 北海道立生涯学習推進センター職員
人口減少問題に対応した生涯学習を推進するための学習機会の提供と、そのための様々な連携や協働の構築に必要な視点について、国や道の動向を踏まえて説明します。
 - (2) 基調講演 テーマ：「地域とともに歩む～三笠高等学校地域連携部の取組～」
三笠高校では、授業や各種行事などをはじめ様々な場面で積極的に地域と関わり、有機的に地域社会を学ぶ教育活動に取り組んでいます。人口減少問題に対応した人材の育成や地域との協働のヒントとなる事例として、三笠高校地域連携部の取組についてお話いただきます。
講師：北海道三笠高等学校教諭 熊谷綾真氏
 - (3) 研究協議 A「地域の担い手を育てる学びの提供」
人口減少問題に対応した「地域を好きになる学び」をいかに創出し、地域の担い手を育てるか。ワークショップ形式で、その学習機会の提供について考えます。
ファシリテーター：北海道立生涯学習推進センター職員

B「学びと活動の循環の形成」
人口減少問題に対応した「地域を好きになる学び」の次のステップとして、学びを活動につなげるためにはどうすればいいか。ワークショップ形式で、その方策について考えます。
ファシリテーター：北海道立生涯学習推進センター職員
 - (4) 情報提供 北海道教育庁空知教育局社会教育指導班
道立青少年体験活動支援施設

- (5) 個別相談 道立生涯学習推進センター職員が、市町村の生涯学習・社会教育の推進に関わる中・長期計画策定等の個別相談に応じます。希望される方は、参加申込書の希望ありにチェックを入れ、相談内容を御記入ください。

9 スケジュール

10:00		10:05	10:15	11:40 12:10 13:10			16:30	17:00
受付	開 会	説 明	講 演	情 報 提 供	昼 食 休 憩	研究協議 A 「地域の担い手を育てる学びの提供」	個別相談	解 散
						研究協議 B 「地域の担い手が行動する学びの提供」		

※研究協議について

研究協議は、A・Bどちらかのコースを選択し、参加申込書にチェックを入れてください。なお、人数によってコースを調整させていただくことがあります。

10 参加申込み

- 申込み締切り 8月16日(火)
- 参加申込書には、研修の効果的な運営を目的に質問項目を設定しております。御協力をお願いします。

- 11 その他 北海道では、クールビズを実施しております。御理解と御協力をお願いいたします。

<申込み・問い合わせ先> 北海道立生涯学習推進センター（担当：吉光寺、久保）
〒060-0002 札幌市中央区北2条西7丁目「かでる2・7」8階
TEL：011-231-4111（内線）36-329 / FAX：011-261-7431
Mail：hlpc_staff@manabi.pref.hokkaido.jp
※別添「参加申込書」を送付してください。（郵送・FAX・電子メールのいずれか）
※開催要項及び参加申込書は、当センターホームページの〈主催講座案内〉からダウンロードできます。（<https://manabi.pref.hokkaido.jp/center/works/course/index.html>）